

市民の声（3月分）

意見 39	<p>R7. 3. 14</p> <p>このたび袖ヶ浦市に引っ越してまいりました。市原市や木更津市には、大型ショッピングモールをはじめ、スーパーやカフェ、映画館、飲食店、大型家電量販店、整備された公園などが充実しておりますが、袖ヶ浦市にはこれらの施設が少なく、中間地点としての役割に留まっている印象を受けています。</p> <p>袖ヶ浦市にはまだ十分な土地があるように思えますので、今後、こうした商業施設が増えれば、近隣の市からも人が訪れ、さらなる発展につながるのではないかと期待しております。しかし、現状では誘致が難しいのでしょうか。</p> <p>また、長浦駅前には、閉店後そのまま手がつけられていない店舗跡が見受けられます。人気のカフェや、ゆっくりと時間を過ごせるお店（例えば五井の「むさしの森珈琲」などは平日でも常に賑わっています）を誘致できれば、人の流れが分散され、袖ヶ浦市にも訪れる方が増えるのではないかと考えます。企業側にとって、袖ヶ浦市の魅力が十分に伝わっていないのではないかと感じるのですが、市としての取り組みについてお伺いできれば幸いです。</p> <p>また、4月から長浦小学校に通う子どもがおります。見学の際、全体的に設備の老朽化が見受けられ、とくにトイレは暗く古い印象でした。先生方も市へ改善の要望を出されているとのことですが、子どもたちがより快適に過ごせる環境となるよう、施設の改修を検討いただけますと幸いです。</p> <p>市原市からまいりましたが、市原市は電子黒板を使用しておりました、袖ヶ浦市は使用していないと伺いました、今後導入の予定などあるのでしょうか？</p> <p>今後、住んでみて気になる点がありましたら、改めて要望をお伝えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>敬具</p>
回答	<p>R7. 4. 2 商工観光課 教育総務課 学校教育課</p> <p>初めに、商業施設の誘致についてでございますが、市といたしましては、特定の業種に限定した誘致は行っておらず、企業と地権者の判断に委ねているところです。</p> <p>また、市の取組についてでございますが、地域経済団体である袖ヶ浦市商工会と連携し、出店に関する様々な相談に対応する他、袖ヶ浦市商工会や市内商店会、袖ヶ浦市観光協会と連携し、各種イベントを開催し、本市の魅力発信に努めているところでございます。</p> <p>次に、学校のトイレにつきましては、老朽化した個所や児童生徒の使用頻度の高い個所から優先して洋式化を含めた改修を実施しております。</p> <p>長浦小学校を含む長浦中学校、蔵波中学校の3校につきましては、今年度の7月から12月頃にかけて、洋式化を含めたトイレ改修を実施する予定です。工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解くださるようお願いいたします。</p> <p>最後に、市内小中学校の情報教育についてでございますが、電子黒板は現在市内の小学校には、配備しておりません。令和3年度より小学校の各教室に大型提示装置を配備し、GIGA タブレット端末と連携できるようにしております。</p> <p>そのため現在、電子黒板の導入についての予定はございませんが、今後も必要性等</p>

	<p>については各学校と意見交換をしてまいります。</p> <p>この度は、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。</p>
意見 40	<p>R7. 3. 31</p> <p>既に多くの市民から改善提案があがっていることと思いますが、木更津袖ヶ浦～羽田空港運航バスを早急に改善してください。空港まで最短〇〇分という魅力的なアピールにより、多くの人に移住を決意し木更津袖ヶ浦に引っ越してきていますが、実情はというと30分から1時間の遅延は頻繁に起こり、時間通り来たとしても満席で乗れないということも頻繁に発生しています。</p> <p>市民が増えているにも関わらず、リムジンバスは減便し、最近も帰宅時の羽田発バス18,19時代のバスに乗れず、1時間以上も待つこともありました。</p> <p>交通渋滞影響だけなら利用者は納得できますが、通勤帰宅時の座席数がそもそも足りていないように感じています。</p> <p>以前、市に相談させてもらいましたが、バス会社に問い合わせてくださいと言われ、バス会社に要求すると、複数のバス会社が運航しており簡単には増便できず、市に問い合わせてください。と、たらい回しになっています。市民個人で解決できるレベルの話ではありません。</p> <p>市とバス会社で協議し、まずは利用者目線で現実の課題を問題視していただき、どうか改善に繋げてほしいです。何卒よろしくお願いいたします。</p>
回答	<p>R7. 4. 17 企画政策課</p> <p>本市は、鉄道や高速バスを通じて、都内の主要駅や空港などからのアクセスが良好な位置にあり、特に高速バスにおいては、東京湾アクアラインの接岸地にも近接しており、これまでも便数や運行路線の増加などのサービスの充実に努めてまいりました。</p> <p>しかしながら近年、コロナ禍における利用者の減少や、働き方改革関連法による労働時間の上限規制に伴い生じた乗務員不足など、バス事業者における経営状況も厳しさを増し、急なダイヤ改正や減便などが行われております。</p> <p>今回の木更津羽田空港線の減便理由につきまして、運行事業者に確認しましたところ、共同運行を行っていた4社のうち1社が乗務員不足のため撤退したことによる減便であるとのことでした。</p> <p>本市といたしましては、これまでも利便性確保のため運行事業者との協議を行ってまいりましたが、令和7年3月28日に、改めて運行事業者を訪問し、木更津市と連名で高速バスの利便性確保に関する要望書を提出いたしました。</p> <p>今後も引き続き、高速バスの利便性の確保について取り組んでまいりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>この度は貴重なご提言、誠にありがとうございました。</p>